



傾聴ボランティア

「あいりす」通信

第 34 号

〒682-0025 倉吉市八屋 301-1

はーとぴあ創造内 あいりす事務所

電話番号 0858-24-5378 携帯電話 090-2804-8014 (竹森)

E-mail:ailis@ha-topia.org

[http:// ha-topia.org/ailis](http://ha-topia.org/ailis)

大山も雪をかぶり、寒さが一段と身に沁みる季節になりました。会員の皆様お変わりはありませんか。2016 年も残すところあとわずかとなりました。

今年は、地震もあり大変な年でした。逆にこの体験を通して、お互いに思いやることの大切を味わうことが出来た貴重な体験でした。これから家の修理、心のケアなどしないといけないことが残されています。傾聴ボランティア活動もこれからもっと必要とされることでしょうか。傾聴の大切さを地域に広げ、お互いを思いやる暖かな社会を目指して活動をして行きましょう。

80 歳を過ぎた今、星降る冬の夜空を眺め、珈琲を飲みながらほっとしたひと時に幸せを感じています。私のこれからの使命は若者が将来に希望を持つような高齢者になることだと悟りました。会員の皆様の笑顔に支えられ、元気をもらっています。今年も皆様のご協力で「あいりす」の活動が無事に終えることができました。新しい年が皆様にとって良い年になりますようにお祈りします。

傾聴ボランティア「あいりす」会長 竹森 民枝

○2016・12・11日比谷図書文化ホールにて

<東京歳末名物 女たちの討ち入りシンポ>がありました。(竹森さんと遠藤さん参加。)

大熊由紀子さんを憶えておられますか?大熊由紀子さん(2年前倉吉にお呼びしました。この国最高のジャーナリスト。)のメッセージを皆さんにお伝えします。

人間にとって大切なことは・・・

「安心できる居場所」、「味方」、そして、「誇り」です。

日本独特の精神病院や長期ケアの病院、施設の多くは、住み慣れた居場所から離れた非日常的な空間です。周りは見知らぬひとばかり、役割を果たすすべもなく、誇りもはぎとられてしまう。人間にとって大切なこの3つのどれもが欠けています。

<認知症をめぐる5つの常識⇒実は誤解>

☆頭を使っていればボケない⇒頭を使った人でも

☆早期治療が大切⇒「治療」よりケアと環境が大切

☆徘徊・暴力など不可解な行動⇒了解可能な心の叫び

☆精神病院もやむをえない⇒日本だけの「世界の非常識」

☆認知症になったら何も分からなくなる⇒支援者が出来ないこと、出来ることを判断してあげる。

本人の願いに耳を傾けて実現する

傾聴って本当に大切なことですね。

○傾聴ボランティア養成講座（第5回）

講師：浜田妙子傾聴ボランティア「あいりす」顧問

日時：1月12日（木）13：30～15：00

場所：倉吉福祉センター2階 中会議室

演題：より幸せになるために

「幸せとはなんだろうか？ お金、ご馳走、豪邸、仕事、権力、名声、理想の恋人……。どんなに素晴らしいものであれ、それを手に入れてしまえば、幸せは薄れて行く。幸せとは、得るものではなく、与える（愛する）ことではないだろうか。」浜田さんの幸せのお話が楽しみです。

○傾聴ボランティア養成「公開講座」を開催しました

講師：木村民子さん

日時：11月23日（水・祝）13：30～15：30

場所：新日本海新聞社中部本社ホール

演題：人生100年、生きにくい世を生き抜くには

気さくな人柄で、穏やかなお話しぶりに心が癒されました。これから超高齢者社会を迎えるにあたり、ほんの少しの勇気と知恵で不安が少なくなる生き方のヒントを教えてくださいました。絵本で高齢者が元気に輝いて生きる取り組みの紹介もして頂きました。



木村民子さん



事務局より

残り2週間ほどで申しは去り、酉しを迎えます。今年は地震があり、人との繋がりが生活に求められていると実感しました。顔を合わせ、話をすることが人と人を結び付ける基本です。傾聴は本当に今求められていることですね。みんなでワイワイ話しながら楽しんで活動しましょう。お気づきのこと、意見は遠慮なく事務局まで。

1月10日(火)同封しましたチラシの講演会を「あいりす」も後援しています。お忙しいとは思いますが、是非参加して下さい。（I）